

《福祉・介護職員等処遇改善計画書》

法人名：一般社団法人みずほの家

計画期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

【1】算定する加算区分

事業所番号	事業所名	サービス名	算定する加算区分
2811400270	ひこうき雲	短期入所	I
2821400062	ななつ星	共同生活援助	II
2811400288	みずほの家マザーハウス	生活介護	II
2811400346	やまびこ	行動援助	II

【2】賃金改善の対象職員

本計画に基づく賃金改善の対象職員は、当事業所に勤務する福祉・介護職員（生活支援員、世話人等）を中心とし、事業運営に従事する管理者およびサービス管理責任者等を含めるものとする。

【3】処遇改善見込額と賃金改善額

当該年度における福祉・介護職員処遇改善加算の見込額は年額20,130,036円とし、その全額を原資として賃金改善を実施する。
賃金改善の見込額は21,000,000円とする。

【4】賃金改善の方法

賃金改善については、毎月支給する処遇改善手当の増額を基本とし、あわせて賞与として支給する。
また、安定的な処遇改善を目的として、一部を基本給の引き上げに充てる。
なお、賃金改善にあたり、既存の給与水準を引き下げることを行わない。

【5】処遇改善加算の配分方法

本加算による収入は全額を福祉・介護職員の処遇改善に充て、以下の方法で配分する。

(1) 基本的な考え方

職員の安定的な雇用確保とモチベーション向上を目的とする。
経験・資格・勤務状況を考慮し、公平性を確保する。

(2) 具体的な配分方法

毎月の手当として支給

賞与として支給

非常勤職員については、時給に対して手当として支給

【6】職場環境等要件に関する取組

区分	内容
入職促進に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化
	<input type="checkbox"/> 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築
	<input checked="" type="checkbox"/> 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
	<input checked="" type="checkbox"/> 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業向上の取組の実施
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<input checked="" type="checkbox"/> 働きながら介護福祉士等の取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動
	<input type="checkbox"/> エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等の導入
	<input checked="" type="checkbox"/> 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保

両立支援・多様な働き方の推進	<input type="checkbox"/>	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備
	<input checked="" type="checkbox"/>	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員か正規職員への転換の制度等の整備
	<input checked="" type="checkbox"/>	有給休暇が取得しやすい環境の整備
	<input type="checkbox"/>	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実
	<input checked="" type="checkbox"/>	障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮
腰痛を含む心身の健康管理	<input type="checkbox"/>	福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等の導入及び研修等による腰痛対策の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業者のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
	<input type="checkbox"/>	雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
生産性向上のための業務改善の取組	<input type="checkbox"/>	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減
	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳、下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化
	<input type="checkbox"/>	5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減
やりがい・働きがいの構成	<input checked="" type="checkbox"/>	ミーティング等による職場内のコミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善
	<input type="checkbox"/>	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供
	<input checked="" type="checkbox"/>	支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供

【7】職員への周知方法

本計画については、職員会議において全職員に対して周知を行う。

一般社団法人みずほの家
代表理事 山中信人